



令和6年8月に市民を対象に市政世論調査を行い、結果をまとめた『第27回市政世論調査 市民のこえ ～調査結果のまとめ～』を作成しました。その中から、一部を抜粋して紹介します。

問合せ シティプロモーション課 ☎32-1126

調査結果は、市役所行政情報コーナー、図書館、市ホームページで閲覧できます。



## 住みやすさ

稲沢市が住みやすいところだと感じているかについて、「住みやすい」が54.0%、「住みにくい」が11.4%、「どちらともいえない」が33.9%となっています（図1）。

年齢別では、「住みやすい」は18・19歳で68.8%、30歳～39歳で69.1%、40歳～49歳で62.6%と高くなっており、一方「住みにくい」は20歳～29歳で17.4%と他の世代と比べ高くなっています（図2）。

居住地区別でみると、「住みやすい」は稲沢地区で68.6%、小正地区で69.9%と高くなっているのに対し、「住みにくい」は千代田・祖父江地区で約2割と他の居住地と比べ高くなっています（図3）。

図1 稲沢市を住みやすいところだと感じますか

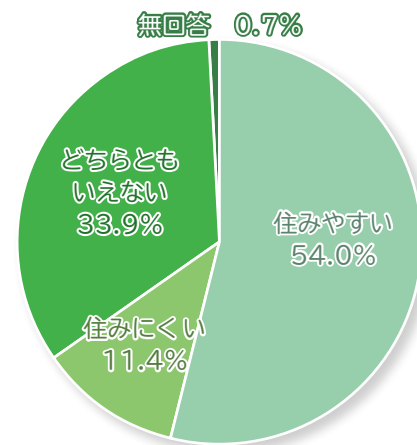


図2 稲沢市を住みやすいところだと感じますか（年齢別）

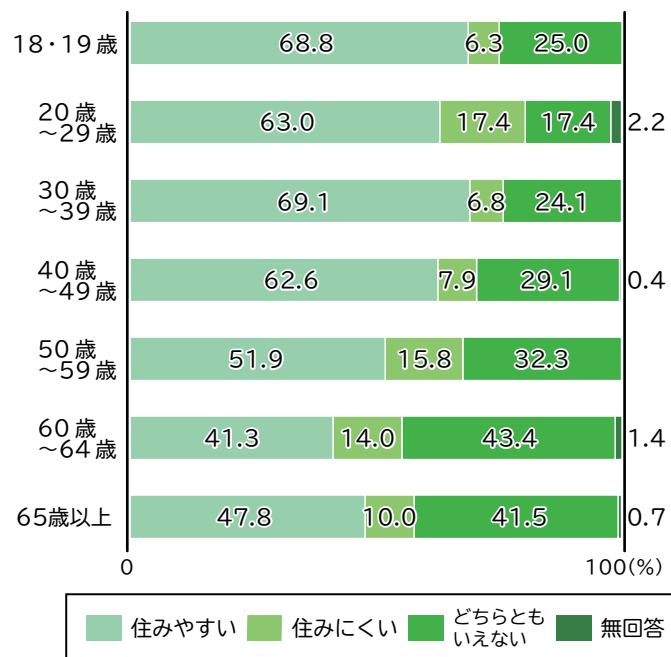
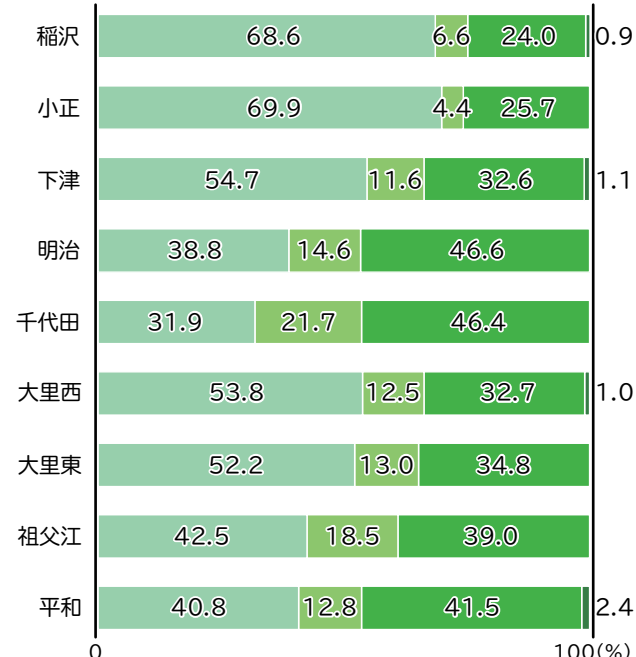
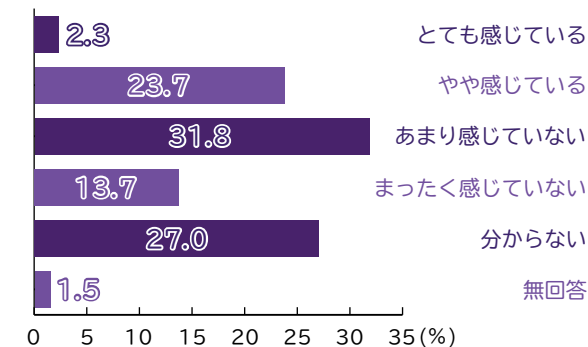


図3 稲沢市を住みやすいところだと感じますか（居住地区別）



## 市業務のデジタル化

現在、稲沢市はデジタル化※1に向けた取り組みを行っていますが、デジタル化が進んでいると感じますか



「とても感じている」「やや感じている」を合わせた「感じている」が26.0%に対し、「あまり感じていない」「まったく感じていない」を合わせた「感じていない」は45.5%と、デジタル化が進んでいないと感じる方が多くなっています。

※1…ここでの「デジタル化」とは、窓口事務などで市民の方がパソコンやスマートフォンなどを使用し、来庁せずに電子申請やスマホ決済などができることを指します

混雑時を避け、少しでも待ち時間を減らせるよう、市民課窓口の混雑状況をリアルタイムで確認することができます。

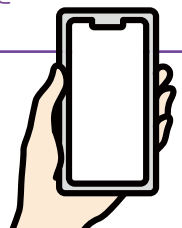
また、窓口に出掛けなくてもオンラインで届け出や申請ができるサービスも行っています。



市民課窓口混雑状況

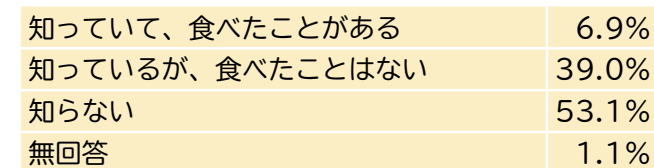


オンラインサービス一覧



## ご当地グルメ（カレー）の認知度

稲沢市の推進しているご当地グルメがカレー料理であることを知っていますか



「知っていて、食べたことがある」「知っているが、食べたことはない」を合わせた割合は45.9%で、“知っている”方は5割に満たないという結果になりました。



### なぜカレーが稲沢のご当地グルメに？

稲沢市は即席カレー発祥の地であり、黄金色に輝くイチヨウ黄葉はカレーを連想させるからです。

### いつどこで食べられるの？

令和6年11月3日に開催した「稲沢カレーフェスティバル2024」では、出店した和食・イタリアン・カフェ・パン屋・居酒屋など、幅広いジャンルの市内27店舗が、「カレー＋稲沢らしさ」をテーマに、お店独自のこだわりを加えて開発したカレー料理を提供しました。イベント開催時以外でも参加店舗で随時、味わうことができます。

参加店舗など詳しくはこちら



## 第27回市政世論調査 概要

**目的** 市民生活の実態や市民志向の調査を行うとともに、市の様々な施策に対する市民の意見を集約・分析することにより、今後の行政施策立案の基礎資料とします

**対象者** 満18歳以上の市民の方2,500人（無作為抽出）

**項目・内容** 20項目、選択方式

**調査期間** 令和6年7月24日～8月13日

**調査方法** 郵送法（インターネット回答併用）

**回収結果** 回答人数…1,376人、回収率…55.0%